

TUKO PAMOJA

VOL.2

HABARI

LONDONI BASEBALL CLUB 設立！！

タンザニアでは超マイナーなスポーツである野球を「ぜひやってみてほしい！」という生徒たちを集めて、野球部を設立しました。タンザニアで4つめの野球チームです。道具は日本の皆さんの寄付によって集められたものを使用しています。ベースはみんなで作りました。慣れない道具を使ったスポーツに悪戦苦闘しながら、楽しくアフリカの大地で白球を追いかけています。



今回は「タンザニアの文化」についてご紹介させていただきます！
様々な地域の文化が混在するタンザニア。

言語・食事・服装に焦点をあててご紹介していきたいと思っております！

(1) KISWAHILI

タンザニアの公用語は「スワヒリ語」。タンザニア独立後は様々な部族の言葉が話されていましたが、当時の大統領が言語の統一を図るために、公用語をスワヒリ語としました。地方では部族の言葉も残っていますが、タンザニア人は基本的にスワヒリ語を話します。部族語は日本で言う方言のようなものでしょうか？ちなみに、私の任地ソングアでは「ンゴニ語」という部族語が残っています。

中学校教育から英語が授業で使用されます。小学校から英語の授業は始まるのですが、中学校に入っすぐの生徒たちにとって、英語のみで行われる授業は難易度が高いようです。配属先では英語とスワヒリ語を交えながら授業が行われています。（原則、英語のみなのですが）



(2) CHAKULA

タンザニアの主食はウガリ【写真】と呼ばれるトウモロコシの粉をお湯で練ったもので、おかずと一緒に食べたり、ソースにつけて食べたりします。他にも米、ジャガイモが主食として食べられています。奴隷貿易時代にアラブ系の文化が入ってきたことにより、ピラウ（スパイスとジャガイモと牛肉の混ぜご飯）、ピリヤニ（スパイスの混ぜご飯、橙色）



も食べられていますが、週末ぐらいいか食べられることはないようです。おかずとしては、牛肉をトマトソースで煮込んだものやカチュンバリ（トマトと玉ねぎのサラダ）、マハラゲ（豆をココナッツミルクで煮込んだもの）、ダガー（小魚を揚げたもの）、クク（鶏肉を素揚げしたもの）などがあります。

タンザニア人が最も大切にしているもの。それは、チャイの時間！つまりティータイムです。朝10時ごろのチャイの時間をとても大切にしています。激甘の紅茶(?)を飲みながら、サンブサやキャッサバ、チャパティを食べます。【写真参照】

午後になると、サトウキビをバリバリ食べているタンザニア人をよく目にします。彼らにとってのおやつのようなものでしょうか？日本人にはあまり馴染みのない光景ですね。



(3) NGUO

日本と特に遜色のない服装なのですが、東アフリカ伝統の「カンガ」を身に着けている女性が多く見られます。カンガにはスワヒリ語で素敵な言葉が書かれています。例えば...

「幸福は日常のどこにでも見つけられる」

「陰で噂話をする暇なんてありません」

といったようなものです。カンガは腰に巻いたり、羽織ったり、赤ちゃんを抱くときに使ったり、いろいろな用途で使われています。ちなみに、言葉の書かれていないものは「キテンゲ」といいます。



MTANZANIA

友達のタンザニア人をご紹介します！

LASWAI（ラスワイ）は配属先の生物担当の先生です。日本での研修にも参加した経験があり、日本が大好きなタンザニア人です。毎朝、「おはようございます！」とおじぎをしながら挨拶をしてくれます。スワヒリ語を教わったり、授業のことや生活のことで助けてもらうことも多く、大切な活動のパートナーです。



3ヶ月の断水を見事に乗り越え、待ちに待った雨季の到来です！
今回は「タンザニアの喜怒哀楽」をテーマにしたいと思います。

ASANTENI SANA!